

令和6年度第4回 羽曳野市本庁舎建替整備に関する意見聴取会 会議録

1. 日 時 令和7年3月17日(月)13時～14時

2. 会 場 羽曳野市役所 別館3階会議室

3. 出席者 (敬称略・区分別五十音順)

区分	氏名	所属・役職等
学識経験者 (座長)	関川 華	近畿大学 建築学部建築学科 准教授
学識経験者	和泉 大樹	阪南大学 国際観光学部 教授
市民団体	風呂谷 幸蔵	羽曳野市連合区長会 会長
市民団体	原 誠	羽曳野市商工会 会長
議会	竹本 真琴	羽曳野市議会 公共施設建設整備特別委員会 委員長

4. 欠席者 ・音川 佳世 羽曳野市身体障害者福祉協議会 会長

5. 傍聴者 ・0名

6. 次 第 ・「羽曳野市本庁舎建替整備基本設計図書(案)」にかかる
パブリックコメントについて
・令和7年度の予定について

7. 資 料 ・資料1 羽曳野市本庁舎建替整備基本設計図書(案)に対して提出
されたご意見および市の考え方
・資料2 羽曳野市本庁舎建替整備基本設計図書(案)修正概要

8. 事務局 ・羽曳野市 総務部管財用地課庁舎整備推進室
(・株式会社 三菱地所設計)

9. 内 容

1. 開会

■事務局より開会の挨拶

2. 資料確認

■事務局より資料確認

3. 委員紹介

■事務局より委員紹介

- ・ 本日は音川委員がご欠席となっております。

4. 次第1 「羽曳野市本庁舎建替整備基本設計図書（案）」にかかるパブリックコメントについて

■資料1「羽曳野市本庁舎建替整備基本設計図書（案）」に対して提出されたご意見および市の考え方」、資料2「羽曳野市本庁舎建替整備基本設計図書（案）修正概要」を事務局より説明。

5. 質疑応答

◆和泉委員

- ・ 説明いただいたパブリックコメントに対する回答については質疑ありませんが、今後パブリックコメントを通じて、庁舎に対する市民の方々が意見する機会というのは設けられるのでしょうか。

■事務局

- ・ 実施設計期間においてもパブリックコメント等、市民のご意見をお伺いする機会には設ける予定です。

◆関川委員

- ・ パブリックコメント以外に、意見を集める箱など、常時意見を聴くことができる仕組みは検討されているのでしょうか。

■事務局

- ・ そのような検討は現時点で行っていませんが、今後の参考にさせていただきます。現在も、意見があればメールをいただくことは可能です。また、実施設計段階でワークショップを開催予定ですので、そちらで意見をいただけると有難いと思っています。

◆関川委員

- ・ パブリックコメントはハードルが高いように思うので、気軽に意見を提出できるような仕組みが市役所にあると良いのではないかと思います。コメントさせていただきました。事務局回答によると、パブコメ以外にもワークショップや別の方法で意見を提出できる可能性があるとのことでしたので、是非進めていただきたいと思います。

また、パブリックコメント回答文の書き方について、再度検討してはいかがでしょうか。

①-1の質問は、設計者の資質に対し問われているのだと思います。まずその点に対する回答を行った上で、本庁舎の部材について、不燃材等の加工材を使用していることを具体的に説明するということが、安心に繋がるのではないかと思います。

①-2の質問は、利便性より芸術性に偏っている建物や、芸術的でも使いづらい建物は市民としては困るということが主たる内容だと思います。回答では、建物の安全性、効率性とデジタル技術の活用について記載がありますが、デジタル弱者の方にも使いやすい配慮がされていることを追加いただくと良いのではないかと思います。

■事務局

- ・ ①-1の回答はご指摘いただいた内容で調整させていただきます。
①-2の回答は、バリアフリー含めた動線計画への配慮について追記をしたいと思います。また、ICT・DXなどのデジタル技術の活用については、アナログ（オフライン）とデジタル（オンライン）のハイブリッドで対応していく方針で

すので、デジタル弱者の方も取り残さず対応していくことを文面に追加させていただきます。

6. 次第2 令和7年度の予定について

■令和7年度の予定について事務局より説明。

- ・ 令和5年度から開始した意見聴取会について、来年度は実施設計及び新庁舎の建設に着手する年度ですので、令和7年度まで継続して皆様に協力をお願いし、開催したいと考えております。今後の予定は後日、相談させていただければと思っております。

つづいて、令和7年度のスケジュールについて説明いたします。現在、実施設計施工DBのプロポーザル選定中で、選定完了後、6月に実施設計を開始する予定です。プロポーザルは1月6日に公募を開始し、現時点では問題なく進んでおり、明日（3月18日）DB対話を実施予定です。令和7年6月契約後に、実施する工事は以下を予定しております。

フェーズ0：敷地南側に仮設駐車場を整備

フェーズ1：インフラバイパスの整備

フェーズ2：既存建物の解体撤去

フェーズ3：新本館の整備（1期工事）

また、実施設計期間中には、ワークショップを開催する予定です。ワークショップのテーマは現在検討中ですが、基本設計で計画をした場所（例えば古墳の丘テラス）をどのように使っていくのかを、市民の皆様と話し合いたいと考えています。ワークショップには、基本設計者の隈研吾建築都市設計事務所より隈研吾さんにも参加いただく予定です。庁舎整備計画について深く理解いただいている意見聴取会の皆様にも、ワークショップのテーマについて、アイデアをいただきたいと考えております。

7. 質疑応答

◆関川委員

- ・ ワークショップの企画はとても良いと思いますので、進めていただければと思います。テーマについては、どのようなことを取り上げたいか市民に募集しても良いかと思います。事務局としては、これまで検討してきた建築計画をもとに使い方の部分を市民の皆様と一緒に議論していくというワークショップを想定していると思うのですが、ワークを通じて、今までとは違う新しい庁舎の在り方としてのロールモデルを目指して作り込むと良いのではと思いました。例えば方法論としてはシナリオアプローチがあると思います。10年後もしくは20年後にどんな都市でありたいか議論したり、最悪なシナリオを羽曳野市がたどっていくとこんな形になる、そうならないために市もしくは市役所がどうあったらいいか、といったことを議論されると非常に有益だと思いました。

■事務局

- ・ 近畿大学と阪南大学の学生さんにも、ワークショップに参加いただきたいと思いますと思っているのですが、検討いただけますでしょうか。

◆和泉委員

- ・ 承知いたしました。可能であれば、隈さんや参加者による街歩きがセットとなったワークショップを検討いただきたいと思います。文化財等の案内も含めた街歩きとすることで、発信素材になるのではないのでしょうか。

◆関川委員

- ・ 近畿大学も参加させていただきます。市民ではない建築学生等が参加することによって、市民の方が意見を言いやすくなる効果もあると思います。ワークショップの構成としては、和泉委員がおっしゃったように、現地を訪れることが非常に重要だと思います。一方で、なるべく多くの人が議論を聴くことができるように、オンライン参加を募っても良いのではないかと思います。

■事務局

- ・ 意見ありがとうございます。設計者含めて検討したいと思います。

◆竹本委員

- ・ ワークショップ開催は非常に良い試みだと思います。これからの市役所を考えるにあたり、多様な媒体との調和がテーマになるのかなと思っています。隈さんの設計ということで非常に話題性がありますし、単なる公共施設ではなく集いの場をつくるための、羽曳野市民だけではなくて関係人口を呼び込めるようなアプローチを考えてほしいです。次第1で和泉先生からもご質問がありましたが、私も完成するまで市民の意見は聞き続けていく必要があると思っています。シンポジウムやパブリックコメントは一般市民にはハードルが高いので、座談会のような対話できる機会の検討をお願いします。

■事務局

- ・ 意見を聴くことができる、開かれた窓口については今後検討していきます。

8. 閉会

◆関川委員

- ・ これで議事は全て終了しましたので、意見聴取会を終了します。円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

・

■事務局

- ・ 本日の会議録につきましては、事務局で案を作成し、公表前にご確認いただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。これをもちまして、令和6年度第4回羽曳野市本庁舎建替整備に関する意見聴取会を閉会いたします。